

木村勝好

市議会だより

平成31年春号

市政についての御意見、御要望をお寄せ下さい

明日に向かって仙台創生！

皆様にはいつも大変お世話になり、誠にありがとうございます。

私の議員として一貫した目標は、市民生活の安心・安全を守るとともに、仙台を全国の政令市の中で最高の質を備えた都市にしたいということです。福祉、教育、環境などの分野はもちろん、まちの活力やにぎわいなどについても、質の高い充実した内容を備えた都市にしたいと考えております。

人口108万人に達した仙台市においても、高齢化は急速に進行しています。高齢者が健康で安心して生活できる地域社会をいかにしてつくるかが課題であり、そのために地方自治体が果たすべき役割には大きなものがあります。一方で、少子化と人口減少に歯止めをかけるためにも、待機児童対策や奨学金制度をはじめとする、子育て支援政策の一層の充実が必要です。

そして、こうした福祉政策を進めるためにも、仙台の地域経済の活性化をはかり、必要な税収を確保して

いくことが大切です。

中小企業や地場産業への支援、新産業の育成や市内への企業や研究所の誘致、観光振興や国際コンベンションなどにこれまで以上に力を入れ、交流人口の拡大をはかっていく必要があります。

市政には、他にも様々な課題が山積しております。私はそれらを着実に解決し、仙台の未来に向けた都市づくりを進めるため、これからも引続き市民とともに全力で取り組んでまいります。皆様の一層のご理解、ご協力を心からお願い申し上げます。



仙台市議会議員

木村勝好

5期目～現在まで

- 若林区障害者福祉センターの整備
- 東北本線の東街道踏切りを改良
- 荒町商店街の街路灯を仙台市に移管
- 連坊コミュニティ消防センターの建設
- 荒町市民センター前にバス停を新設
- 沖野一丁目バス停前の市道に横断歩道を設置
- 南材コミュニティ消防センターの建設
- 陸奥国分寺ガイダンス施設などの整備

4期目～5期目

- 「むにゃむにゃ通り商店街」の看板を設置

- 遠見塚東公園の建設、隣接する市道の拡幅
- 南鍛冶町商店街の街路灯を仙台市に移管
- 荒町第三町内会の集会場を整備
- 若林児童館の床を張り替え
- 西文化町内会館の修理

3期目～4期目

- 蒲町児童館の建設
- 市バス沖野回転場に駐輪場とベンチを設置
- 南材児童館の建設と地元開放
- 若林城跡に記念碑を設置
- 古城コミセンと児童館の建設

2期目
～
3期目

- 区役所前広場の親水公園の水を、安全な水に切替え
- 市バス霞目営業所に駐輪場を確保
- 控木緑地(公園)の整備

1期目
～
2期目

- 木ノ下公園に照明灯を増設
- 若林区中央児童館に屋外遊び場を確保
- 日辺地区への上水道の追加・延長

私はこれまで、若林区の住みよい街づくりにも、全力で取り組んできました。現在までの主な成果は、次の通りです。

「住みよい街づくり」に
市民とともに全力投球



古城コミセンの建設

私は、明日に向けた仙台の都市づくりのため、本会議や各委員会において、市民の立場に立つて質疑を進めてきました。その主なポイントは次の通りです。

○いじめ防止条例は実効性のあるものに

質問― 実効性のある条例という以上、いじめが原因の自死や心中などの重大事態が、制定後も繰り返されるようなことがあってはなりません。本条例案は、具体的にどのようなところでその実効性が担保されているのでしょうか

答弁― 条例で各主体の責務やそれぞれが行うべきことの大枠を定め、市のいじめ防止基本方針などで、より具体的な施策を定めることによって、条例の実効性を高めてまいります

○バス事業継続のための新たな検討を

質問― 本市バス事業をこれからも継続していくためには、公営企業として維持していく部分と、公営企業以外の方法で継続していく部分とに分けて対応すべき時期に来ているのではないかと。この際こうした発想も含め、思い切った検討に着手すべきであると考えます

答弁― 路線バスの利用状況や、地域特性などの要素を踏まえ、地域交通への転換の可能性なども含めて、総合的な観点から持続可能なバス路線のあり方について検討してまいります

○消費税引き上げに対する市長の見解

質問― 市長は昨年の本会議において、「これからの日本を考えたときに、広く浅く財源を確保するためには、消費税の増税というのが必要である」という観点で議論をし、そして決断をさせていただいた」と答弁しておられました。引き上げが迫ってきている現在も、このお考えに変わりはないのか、改めて伺います

答弁― 私といたしましても、安定的な財源確保のため、消費税率の引き上げというのは、これを着実に実施することは必

市民生活の安心・安全と 地域経済の活性化を求めて



要であるとの考えに変わりはございません

○深刻化するひきこもりに効果的対策を

質問― 私は、ひきこもりの実態をできるだけ正確に把握するために、改めて調査を行うべきではないか、本市の対策メニューを、例えば市政だよりで大きく特集してはどうか、そして、家庭内で行える仕事を積極的に紹介、斡旋してはどうか、という三点を提案しました。これらはその後どう対応されたのでしょうか

答弁― さらなる調査の必要性や、可能な手法について引き続き検討したい。また市政だよりの活用のほか、新たにパンフレットを作成して、情報の提供を強めてまいりますとともに、在宅での仕事の求人先の開拓に努めてまいります

○新たな経済政策の積極的な展開

質問― 本市が福祉や教育など必要な政策を充実させていくには、地域経済を活性化させ、しっかりと税収を確保していくことが必要です。福祉のために経済の活性化が必要なのであります。村井知事は、トヨタ自動車の工場を誘致しました。市長も大手企業の中心的研究所を、本市に誘致するために積極的なトップセールスを展開すべきではありませんか

答弁― 大企業へのヒアリングなどを実施して、効果的な支援策を策定するとともに、この好機を逃さず私自身が先頭に立ち、積極的な誘致活動に取り組んでまいります

市議会議員選挙は八月二十五日に

仙台市議会は、これまで東日本大震災によって延期され、ばらばらになった地方選挙の再統一を、国に働きかけてきましたが、残念ながら今回も実現せず、このような日程になりました。



陸奥国分寺ガイダンス施設